

## アメリカ人の苗字

松本幸夫（数学）

珍らしく部屋の片付けなどやっていたら、2年前にアメリカから持ち帰った電話帳が出て来た。パラパラめくっていると、なかなか面白い。東海岸のニュージャージーの州都トレントン及びその郊外をカバーする局番609用のものである。部屋の掃除の方はちょっと休憩にして、アメリカ人の苗字のバラエティーを探ってみることにした。

まずポピラーな姓であるが、なんといってもSmith氏が圧倒的に多い。この電話帳では、トレントン市とその郊外を一応別立てで書いてあるので、以下、主にトレントン市に限って調べてみることにするが、トレントン市の電話加入者(個人)約8万人の内、約500人のSmith氏がいる。次いで300人～200人位の姓を並べてみると、Johnson氏、Brown氏、Jones氏、Williams氏、Miller氏、となる。160～120人位の姓は、Kelley氏、Daris氏、Young氏、Allen氏、Moore氏、Taylor氏、White氏、Anderson氏、Thomas氏、Thompson氏等である。

Brown氏やWhite氏のように色彩に関係する苗字があるが、他にはGreen氏(68人)、Gray氏(48人)、Black氏(45人)がいる。さすがにRea氏はいなかったがRedd氏は7人いた。Blueという変った姓もひとりいた。

KingとかBishopとかいう苗字も意外に多い。

King氏は61人、Bishop氏23人、Knight氏20人、Prince氏12人、Queen氏が7人、他にRookなどという人も2人いるので、なんだかチェスが出来そうだ。

Long氏(24人)、Little氏(15人)のように形容詞を姓にする人もいる。Large氏は3人、Small氏は8人、その他にQuickというアワテ者みたいな人も6人いた。Smart氏という格好の良さそうな人もいる。

動物の名前もけっこうある。Fox氏などはポピュラーな方で、トレントン市内に19人、郊外には38人もいる。Bird氏は市の内外あわせて24人、Peacock氏も3人いる。Wolf氏の方は市内に24人、郊外に10人。また、Wolfe、Wolff、Woolf、Woolfe、Wulf、Wulffなど、ちょっと遠慮してつづりを変えた人達も市の内外に50名程いる。迎え撃つHunter氏は市内に19人、郊外に22人である。

金属では、Gold氏11人、Silver氏7人、Copper氏5人など。こういう人達の先祖は細工師かなんかだろうか。郊外にManganという人がひとりいたが、まさか、あのマンガン鉱ではなかろう。

方位に関する苗字では、市の内外でEast氏1人、South氏15人、West氏70人位、North

氏 4 人と、圧倒的に West 氏が多い。これは、どういう理由によるのだろうか。

Love 氏というのが 6 人いた。対照的に Loveless 氏というのも 5 人いる。なんだかおかしい。

頭に X の字のつく姓を持つ人が 3 人いた。フルネームを書かせてもらおうと、Alicia Xass 氏、Nicholas Xenes 氏、Demetrios Xethalis 氏の 3 名である。祖先はギリシャかなんかの出だろうか。

おいしそうな苗字に Apple 氏 6 人、Wine 氏 1 人、Donuts 氏 1 人（ただし、食べる方のドーナツは Doughnut）等がいる。

Mister 氏という人がひとりだけいたが、こういう人に敬称をつけるときはどうするのだろうか。

僕自身出合った自動車保険の会社員に、Fromback 氏という人がいたが、これも奇妙な苗字である。